

4 利用者ニーズの把握の状況

(1)把握方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見箱「あなたの声を聞かせてね」の設置 ・こども会議の開催(月2回) ・利用者アンケートの実施(実施期間:平成30年10月22日～平成30年11月11日/回答者数:こども向け67名/大人向け63名)
(2)把握結果	<p>主な意見として、次のものがあつた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規貸出図書のリクエスト ・幼児教室の定員か日数を増やしてほしい。 ・ホームページで幼児教室や行事の予定が確認できるのが便利でよい。
(3)結果を受けての対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新規図書の購入時にリクエストを反映させた。 ・安全面を第一に考慮し、今後の取組みに反映させる。 ・ホームページ、館内掲示物、職員からの声掛け等、利用者が情報をより得やすくなるよう、情報発信に努める。

5 管理運営状況に対する評価

項目	評価
(1)市民の平等な利用の確保	<ol style="list-style-type: none"> 1 管理運営の方針については、事業計画書に記載されている事項を遵守されていた。 2 平等利用の確保については、利用者の公平性がきちんと確保されていた。 3 個人情報の保護については、吹田市個人情報保護条例をふまえたものになっていた。
(2)施設の効用の発揮	<p>設置目的に合致した事業計画をたて、工夫を凝らした事業を地域の諸団体・住民の協力を得て実施している。サービス向上に日々努力し、利用者の満足度が高い。安全対策においても職場会議や日々の業務の中で注意喚起を図る等、周知が徹底されており、避難訓練等も定期的にも実施されていた。自主事業として、館内での火災、防犯等に関する事業等を実施している。</p>
(3)管理を安定して行う人員、資産その他の経営規模及び能力	<p>館長、主任児童厚生員、児童厚生員を配置し、適切に役割分担がなされており、安定した人員体制となっていた。また、事務処理を適切に行うために事務員を配置していた。児童センターの職員だけでなく、運営委員をはじめ、多くの地域のボランティアの協力を得ながら、児童センターの運営に取り組んでいた。事務処理について、規則等で定められたことが実施できていない箇所が見られたため、改善を求めた。</p>
(4)施設の管理経費の縮減	<p>地域のボランティアの協力により除草・剪定が行われており、委託料が縮減されていた。また、地域に居住する者を職員として採用することにより、通勤費が不要となり、人件費が縮減されていた。日々の取組みとしては、館内の蛍光灯の間引き、使用していない部屋についてのこまめな消灯や印刷物の裏紙利用などコスト削減に積極的に取り組んでいた。</p>
(5)地域人材の活用〔その他〕	<p>地域に居住する保育士や教員の有資格者を児童厚生員として採用しており、地域の人材の活用を図っている。</p>
(6)総合評価	<p>児童センターの行事や施設管理等に地域の諸団体や住民に関わっていただけるよう工夫されており、児童センターでの活動が地域全体で子育てを行う基盤づくりにつながっている。利用者の意見を聴きながら、設置目的に合致した様々な行事を実施しており、利用者満足度も高い。また、独自のホームページを作成する等、利用者への情報発信が充実している。安全管理や個人情報の管理は職場会議や日々の業務の中で注意喚起を図るなど細部まで気を配っていた。事務処理面において、規則等で定められたことが実施できていない箇所が見られたため、改善の必要がある。</p>